

# さんようおのだ 議会だより



市民まつりに参加しました!!  
山陽小野田市民まつり (10月24日)

## もくじ

議会概要	2
委員会レポート	
総務文教常任委員会	3
民生福祉常任委員会	4
産業建設常任委員会	5
一般会計決算審査特別委員会レポート	6・7
一般質問	
三浦 英統 議員	8
中村 博行 議員	8

衛藤 弘光 議員	9
河野 朋子 議員	9
尾山 信義 議員	10
中島 好人 議員	10
硯谷 篤史 議員	11
山田 伸幸 議員	11
河崎 平男 議員	12
大井 淳一朗 議員	12
高松 秀樹 議員	13
下瀬 俊夫 議員	13
平原 廉清 議員	14

吉永 美子 議員	14
岩本 信子 議員	15
福田 勝政 議員	15
伊藤 武 議員	16
石田 清廉 議員	16
豪雨災害対策調査特別委員会中間報告	17
視察・研修報告	18
市民のこえ	18
編集室より	18

議 会 概 要

議案採決の結果

	件 名	全員賛成で 可決	賛成多数で 可決
決算認定	平成 21 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市訪問看護ステーション事業特別会計歳入歳出決算認定	○	
	平成 21 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市老人医療特別会計歳入歳出決算認定	○	
	平成 21 年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定	○	
	平成 21 年度山陽小野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	
	平成 21 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計歳入歳出決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市病院事業決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市水道事業決算認定		○
	平成 21 年度山陽小野田市工業用水道事業決算認定	○	
補正予算	平成 22 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 3 回）		○
	平成 22 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市老人医療特別会計補正予算（第 1 回）	○	
	平成 22 年度山陽小野田市下水道事業特別会計補正予算（第 1 回）	○	
条例	山陽小野田市税条例及び山陽小野田市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	○	
承認	平成 22 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 2 回）に関する専決処分		承認
	平成 22 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 2 回）に関する専決処分		承認
	平成 22 年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第 1 回）に関する専決処分		承認
決議	平成 22 年 7 月豪雨災害に際しての救援活動に感謝する決議	○	
附帯決議	議案第 61 号 平成 21 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議		○
請願	山陽小野田市国民健康保険料の激変緩和のための議会決議を求める請願	賛成少数（不採択）	
	中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める請願	賛成少数（不採択）	
意見書	豪雨災害の復興支援に関する意見書	○	
	平成 22 年 7 月 15 日山陽小野田市豪雨災害の復興支援に関する意見書	○	
	国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額を求める意見書		○
その他	特別委員会の設置 ※豪雨災害対策調査特別委員会	○	
	山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更	○	
	土地の取得 ※小野田霊園用地	○	
	土地の取得（追認） ※北若山住宅団地用地		○
	特別委員会の設置 ※一般会計決算審査特別委員会	○	

# 総務文教

## 追認議案

議会の議決に付すべき事項を忘れてました!?

### ■土地の取得について（追認）■

**総務部長** 昨年8月、「土地開発公社の経営の健全化に関する計画」に基づいて市が開発公社から北若山の土地を取得した際に、法に定められている議会の議決を失念していた。不手際をお詫びするとともに改めて追認を求めるものである。

**委員** 市が取得した後、利活用の計画がなければ再び塩漬けの土地となるが、どのように考えているか。

**市長** 道路等、今後の都市計画の進捗を見ながら議会とも相談をして具体化し、あるいは不要なところは売却などの措置を考えている。

**委員** この議案が追認されない場合は21年度の決算にも重大な瑕疵（かし）が生じるが、その場合の手続きと費用についてはどうなるのか。

**市長** 否決された後の手続きについては非常に複雑になるので考えていない。

**委員** 今後二度とあってはならない不祥事だ。再発防止策はいかに講じるのか。

**総務部長** 3点考えている。地方自治法第96条にかかる15項目についてはすべて市長決裁とすること。これら決裁文書にはチェック表をすべて添付すること。さらに条例の改正も視野に入れたチェックのあり方を総務課で検討する。

**市長** 隠し事はしない。手続上のミスであり、二度とこのようなことを起こさないと約束する。

（賛成多数）

## 一般会計

災害関連で3億2,000万円専決

### ■22年度補正（第2回）■

**委員** 災害見舞い金は何件が対象でいくらか。漏れがあってはならないが、すべて見舞いは終わったか。

**総務部長** 該当者が537件で金額は3万円である。8月末までに468件見舞った。失礼のないように早急に見舞う。

**委員** 専決処分が許されるケースを逸脱しているのではないか。

**総務部長** 厳密に言えばご指摘のとおりかもしれないが、未曾有の災害に遭って目の前の課題を片付けることを最優先としていた実情を理解してもらいたい。

（賛成多数）

### ■22年度補正（第3回）■

#### 厚陽小中学校は現小学校敷地に

**委員** 厚陽小中学校の実施設計が予算化されたが、総額の概算はどれくらいになるか。

**教育総務課長** 校舎の新築に約8億7,000万円、既存校舎の大規模改修工事、解体整地等で上限13億円と考えている。

#### 厚狭公民館の将来像を検討

**委員** 厚狭公民館は今回の水害で大きなダメージを受けた。建物の老朽化も著しく、この際建替えの方向で検討すべきではないか。

**社会教育課長** 今回の災害は偶然の要因だが、担当課としては老朽施設の再編という事もあわせて以前から検討している。

**委員** 建替えの可能性があると理解してよいか。

**教育長** 市長からは厚狭公民館の建替えも含めて検討を加速するように指示を受けている。



老朽化した厚狭公民館

（賛成多数）

## 土地の取得

**委員** 土地開発公社の健全化計画により、今年度は小野田霊園用地を公社から市が買い取るということだが、具体的な開発計画は出来ているのか。

**管財課長** 健全化計画に基づく買戻しについては、取得後10年以内を目途に事業化を進めることになっている。今後霊園整備について関係部署で研究協議に入る。

（全員賛成）

# 民生福祉

## 一般会計

### 連絡体制が不十分だった炊き出し

#### ■22年度補正予算（第2回）に関する専決処分■

**委員** 炊き出しの情報が中々伝わらなかった。自治会長に連絡して、自治会長なり班長が取りに来て、被災者に配るというシステムがあまり機能していなかったのではないかと。

**健康福祉部長** 今後の連絡体制については、自治会長だけでなく、地域の民生委員など複数の方に連絡をして、周知の徹底を図る方法を検討していきたい。

### 被害を受けた自治会館の修繕費を補助

#### ■22年度補正予算（第3回）■

**委員** もはや修繕の段階を乗り越えて、改築の段階にはいつている被害状況である。補助限度額の高い「改築」の適用はできないのか。

**協働推進課長** 自治会館建設補助に関する施行規則によって「修繕」という判断をしたが、今後協議をして適用ができるか検討したい。  
(全員賛成)

## 特別会計

#### ■21年度国民健康保険決算認定■

### 伸び悩む特定健診の受診率

**委員** 特定健診のあり方を見直し、加入者に対してPRを強めるなどすべきだが、今後の方向性についてはどうか。

**国保年金課主幹** 今年度は民間業者に委託して、秋口から冬にかけて集団検診を行うとしている。県とも協議しながら、どうしたら受診率が右肩上がりになるか検討すると共に、今後もハガキを出すなど啓発に努めていきたい。

### 不納欠損額は6,612万7,643円に

**委員** 不納欠損の取扱いについて今後の対応はどのように考えているか。

**国保年金課長** 督促状や催促状の送付、あるいは、電話催告、訪問徴収などをして、滞納の回収に努めているが、滞納者に接触できない等時効による徴収権の消滅は、不納欠損処分にせざるを得ないといった問題が

ある。今後も不納欠損額が増えないように努めたい。

(賛成多数)

### 高額介護サービス給付費が行き届くように

#### ■21年度介護保険決算認定■

**委員** 給付費は周りの人が手続をしないと受けられない方が多い。精算はきちんとできているのか。

**高齢障害課介護保険係長** 定期的に確認している。時効満了前に、再度「申請して下さい」という勧奨の文書を出している。

**地域包括支援センター所長** ケアマネジャーに、このような制度があると周知し、担当する高齢者の所に封筒が来ているはずだから確認してほしいとお願いしている。今後も徹底を図っていく。

(賛成多数)

## 企業会計

### ジェネリックの信頼度は？

#### ■21年度病院会計決算認定■

**委員** 厚生労働省でも検証がなされ、ジェネリックに切り替えるようにという通知もきている。病院として医療費の引き下げに積極的に取り組むべきではないか。

**事業管理者** 国は「安いから」と奨励しているが、本当に信頼できるのか具体的な内容を誰も推測できない。信頼できるメーカーが信頼できる情報システムを作る態勢をとれば問題なく移行できるが、医者として自信がないのが率直な感想である。

**委員** 不信感があるから市民病院として当面使わない方向に来ているのか。

**事業管理者** 不信感があるというより、まだ信頼感がないということである。

(賛成多数)



ジェネリック医薬品お願いカード

# 産業建設

## 一般会計

### 7月15日の豪雨の被害復旧対策は

#### ■平成22年度補正予算（第2回）■

**委員** 農業施設 40カ所の調査設計の予算だが、今後の工事予定のスケジュールを聞く。

**農林水産課技監** 今月の27日の週に2回に分けて国の査定を受けた後、発注に入り年内に7割から8割が契約から施行に入る。

**委員** 厚狭川新橋の完成はいつ頃か。

**土木課長** 国の査定を受け承認後の発注となる。また工事も橋を撤去し造りかえるので複数年かかる。

(全員賛成)

## 特別会計

### 駐車場置場 150台から184台に

#### ■21年度駐車場事業決算認定■

**委員** 昨年も水害で水没したが今回はどうであったか。

**都市計画課長** 発券機の電気系統の基盤が浸水被害に遭い修理した。駐車していた車の被害はなかった。換地設計が決まり舗装されていない土地が駐車場用地として将来市の土地となるため舗装をし駐車台数34台分の追加をした。

(賛成多数)

### 水洗化率のアップは

#### ■21年度下水道事業特別会計決算■

**委員** 平成21年度末までの整備状況を聞く。

**下水道課長** 事業認可区域面積は1,330.4ha、処理区域面積は922.06haで平成21年度の整備は14.92ha、185戸、462人が増加、その結果水洗化戸数9,963戸、水洗化人口は27,327人となり普及率は47.2%、水洗化率は88.1%である。

(賛成多数)

## 企業会計

### 配管の老朽化による漏水

#### ■21年度水道事業決算認定■

**委員** 有収率低下の原因の1つは配管の漏水だが、漏水調査は実施しているのか。

**水道局次長** 業者で実施している。夜間調査はしていないが、配水量が急激に増加したときは調査する。

### 他会計への貸付金はいくらか

#### ■21年度工業用水道事業決算認定■

**委員** 他会計への貸付金があるが、返済状況を聞く。

**水道局次長** 平成19年度に上水道に6,100万円、病院に3億5,000万円貸し付けており、上水道事業は据置なしの5年償還、病院は1年据置の4年償還で金利0.4%である。

**委員** 資本的収入に上水道会計からの返済はあったが、病院の方は利息しか上がっていないが、今後の返済予定はどうなっているか。

**水道局次長** 病院事業より3月末返還金8,750万円を償還予定であったが、病院会計が厳しいとのことで、山陽小野田市全体を考慮し償還を1年スライドした。また、貸付契約の変更もした。

(全員賛成)

### 給水個所の設置が少ないのでは

#### ■22年度水道事業会計補正予算■

**委員** 断水時の給水は9カ所以上できなかったのか。

**水道局次長** 他市の給水車の応援や人の問題もあり、9カ所が限界である。

**委員** 水道局として水害に対する総括を聞く。

**水道局次長** 厚狭川水系事故報告書に取り組んでおり、各職員の意見や解決策を検討し総合計画の見直しをしたい。当面、鴨庄の浄水場は一部であるが防水壁設置を検討する。

(全員賛成)



厚狭新橋

# 一般会計決算審査特別委員会

山陽小野田市議会は、平成22年9月1日の定例会において、一般会計決算審査特別委員会を設置した。

委員会構成は総務文教・民生福祉・産業建設の常任委員会から各4名選出の12名で構成

◎吉永美子(総務文教) 伊藤武(産業建設) 河野朋子(産業建設) 中島好人(総務文教)  
○岩本信子(民生福祉) 衛藤弘光(産業建設) 下瀬俊夫(民生福祉) 福田勝政(総務文教)  
石田清廉(民生福祉) 大井淳一朗(民生福祉) 硯谷篤史(総務文教) 三浦英統(産業建設)

## 予算の見込みが甘かった！

**委員** 議会事務局職員増の方向性はどうなっているか。

**総務部長** 委員会の数等も勘案しながら、人事異動も含めて検討したい。

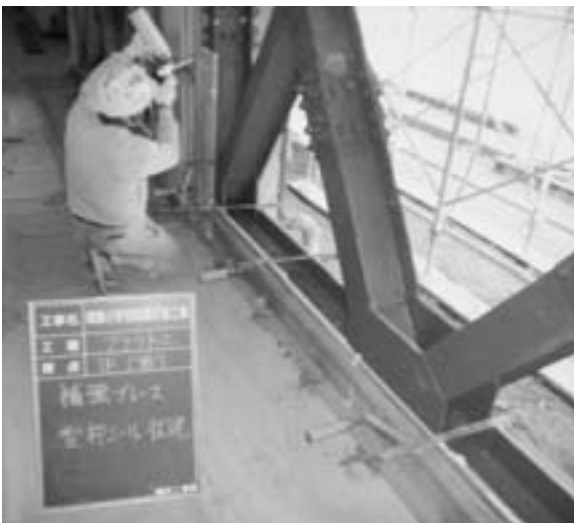
**委員** 土地開発公社からの土地買い戻しについて、議会の議決を経ていなかったのに決算書を提案してきたこと自体、チェックが効かなかったということか。

**総務部長** 違法性を持ったまま決算をしたことは指摘のとおりだ。ただ、今回は同一会期内での一連の議決行為なので、それらについては、議会の考え次第だと思う。

**委員** 事業評価シートが今公表されつつあるが、消防はほとんど出しており高く評価している。評価シートが、次の予算に反映できるような生かし方をしているか。

**消防総務課主幹** まだ歴史が浅いというのが一番ネックであり、記載についても苦慮しているところが多々あるので、年々その精度を上げていこうというのが、実際の現状である。

**委員** 学校の修繕料について、学校からの修繕要望等に対して、実施率が小学校では70%、中学校で68%と低いのが、状況はどうか。



学校の耐震工事（須恵小学校）

**教育総務課長** 学校の要望に対して応え切れていない。ただ、学校の方も相当努力している。予算枠があるので、緊急度の高いものから行うということで、学校も理解している。

**委員** 21年度に図書館は文科省の委託事業を受けて、学校図書館の活性化事業に取り組んだが、その成果はどうか。

**中央図書館副館長** まず一番大きい成果としては、児童生徒の利用が以前に比べて伸びたということがある。その他講演会や、協力校に著名な先生の、公開授業などをしたことによって、先生方の学校図書館に対する意識も、新たになったのではないかと受け止めている。

**委員** 経常収支比率が20年度よりも悪化しており、不安を感じるがどうか

**財政課長** 懸案事項であった実質公債費比率が18年度の25%に限りなく近い状態から、21年度決算においては3ヵ年平均で、18%を切った。また、将来負担比率においても、27.7ポイント下がっている。健全化に向けては、確実に進んでいると思う。

**委員** 予算現額が約287億円、支出済額との差が21億円余あり、その内訳は不用額が約6億円、翌年度繰越しになったものが約14億円ということだが、この数字を見る限り、予算の組み方そのものに問題があり、見込みが甘い部分があったのではないかと思うが、総括はどうか。

**財政課長** 繰越しが例年に比べ多かったという総括をしている。不用額等については、ご指摘のとおり見込みが甘かったと言わざるを得ないと思う。今後、気をつけたい。

## 市民相談と消費相談窓口を一緒にした

**委員** 法律相談委託料について、相談を受けられない状況はどうか。

**生活安全課長** 相談希望者が159人で相談者数は105人となり抽選漏れは54人という結果だ。相談者が減ってきており、今年は定員以下が3回あり抽選漏れは8月末で8人

である。新たに消費生活弁護士相談を始めたので紹介することができる。また定員も2名増やしている。希望者の状況を見て予算要求を検討する。

**委員** 21年度新規事業「地方消費者活性化事業」についてはどうか。

**生活安全課長** 消費者庁ができ、消費生活相談センターの窓口強化事業補助金があり実績は175件であった。今年はかなり増えているが、現在相談員を養成しており、ある程度レベルが上がれば窓口をPRする。

### 自治会事務費補助金の処理

**委員** 343自治会の補助金は自治会の口座に振り込まれているかどうか。

**市民活動推進課係長** 昨年5自治会ほど個人名義口座だったが、今年から自治会口座に入っていると認識している。

### 住民基本台帳がない100歳以上が146人

**委員** 100歳以上の戸籍調査とその対応はどうか。

**市民課長** 戸籍が残っている100歳以上は146人で、そのうち120歳以上が7人となっている。戸籍は法務省の管轄で来年3月くらいまで全部協議をしたい。

**委員** 80歳以上の調査はどうか。

**市民課長** 当面戸籍法で定められている100歳以上を実施し、90歳以下、80歳以下についても随時協議していく。

### 15のイベントに1,009万4,000円の補助金

**委員** 諸行事(まつり等)補助金の中身はどうか。

**協働推進課長補佐**

市民まつりに約611万円、おのだ七夕花火に135万円、厚狭花火大会に80万円その他については一律15万円の補助としている。



厚狭花火大会

### ゴミ袋有料化証紙収入は約1,723万円

**委員** ごみ処理手数料が有料化されたが使い道はどうか。

**環境施設整備室主幹** 廃棄物処理施設等整備基金を設置している。施設整備や更新などに限って使う目的がある。

### 企業団地の今後は

**委員** 小野田・楠企業団地だが、都市間競争と言って現在土地代を8割免除しているが、これでは売れば売れば赤字になるということで、用途変更した方がいいのではないかと思うが、検討の余地があるのか。

**産業建設部長** これは県の公社、宇部市も関係しているので、今三者でどうすればいいのか協議をしているところである。

### 江汐公園は市営に？

**委員** 江汐公園の委託料について

**管理緑地係長** 1,736万8,000円で山陽小野田市シルバー人材センターに委託をしている。

**委員** 現在は県の所有だが、新聞記事によると市営になることに市が同意したとあるがどうか。

**都市計画課長** 市営となると、施設の更新とか経費を考えなくてはならない。市の所有となると現在は毎年約1,000万円の修繕工事をしているが、それが全額市の負担となる。一方で約5,000万円相当の交付税が算入されることも聞いているが、出費と比較してマイナスが出るものを引き受けるわけにはいかないの、その点も含めて今の段階では協議中である。

**委員** 利用する市民にとって市営になると何がかわるのか。

**都市計画課長** 市がどのような公園にしていけるか決めることができる。つまり自由度が増す。



つつじが咲く江汐公園

### 市営住宅の滞納状況

**委員** 市営住宅の明け渡し訴訟で強制執行は3件の57万6,000円だが、この内容についてどうか。

**産業建設部長** 今まで訴訟を外部に出していたのを、今は自分たちでやっている。相手の事情を考慮しながらの結果である。

**委員** 家賃滞納状況についてはどうか。

**産業建設部次長** 約2億1,400万円の現年度調定に対し、滞納繰越調定が3,200万円。収納率では現年度は93%、過年度は28%である。県内13市中、現年度の収納率は最下位だが、過年度は2位となっている。ゆっくりでも回収しているというのが今の姿である。

## 豪雨災害の検証は

三浦 英統 議員

**議員** 7月15日の水害に対しどのような検証を行ったか。

**総務部長** 山陽小野田市の雨量は少量の状況であるが、美祢市では7月10日から15日の雨量は、東厚保で588ミリ、秋吉台で584.5ミリである。宇部港の満潮が午前11時10分で中潮であった。避難所の状況は6カ所設置し、最高ピーク時で80世帯、166人が避難された。災害に対する検証は2回行ったが、再度開催し体系化した総括表にまとめ、今後の災害対策に反映する。

### 豪雨災害時の子供の安全対策は

**議員** 豪雨災害に際し教育委員会や小中学校の休校に対する決定、保護者への連絡の徹底に不備が見受けられるが、今後の対応はどうか。

**教育部長** 子供の安全は最優先で確保する必要があり、学校現場としては、現場の状況と情報収集に

より予測される状況を総合的に判断して休校を決定することができ、今回もこれにより休校を決めた。今後は災害情報が発令と同時に、校長、教頭に伝わるように市の防災メールの登録を義務づけた。各種の災害があるが、各学校が持っている危機管理マニュアルの見直し、休校、自宅待機の判断の仕方等について今後取り組んでいく。



水没した登校道路（広瀬地区）

### 市民生活に直結するライフラインの強化

**議員** 鴨庄浄水場が浸水し断水が生じたが、今後の浸水対策はどうか。

**水道事業管理者** 応急的な処置と

して、主要施設の開口部に防水壁の設置、各排水パイプは逆流防止用のバルブ設置、設備機器のかさ上げ等検討している。鴨庄浄水場の老朽化した施設は、総合計画で予定している施設整備事業の前倒しも視野に入れ検討をする。

### 提案型公共サービス民営化制度の導入

**議員** 市の事業を公表し、民間から委託、民営化の提案を募りスリムで効果的な市役所と、充実した質の高いサービスの提供を目指すと共に、財政の効率化等がある提案型公共サービス民営化制度の導入についての考えはどうか。

**総合政策部長** 提案型公共サービス民営化制度は、行政改革大綱アクションプランに掲げており、目標として公共サービス改革法の趣旨に基づき、行政のスリム化・効率化を実現するよう他市の状況も研究しながら方針決定、具体化に努める。

## 厚狭川下流域の防災計画

中村 博行 議員

**議員** 厚狭川本流は松ヶ瀬から国道190号厚狭川橋まで、桜川・大正川の整備、ポンプの2基増設等、県の計画は公表されているが、渡場から河口にかけても管理者である県に浚渫などの整備の要求をしていくべきではないか。

**市長** 県も自覚されており、護岸については年次計画で河口から日本化薬辺りまでと聞いている。河口・梶漁港の堆積土についても県と協議しながら取り組んでいきたい。



厚狭川河口堆積土

**議員** 狭間川周辺の大雨時の慢性的な浸水について行政の姿勢・見解を聞きたい。

**市長** 慢性的な床下浸水はあってはならないこと。十分調査して正面から取り組みたい。

### 合併特例債活用事業について

**議員** 主要7事業の進捗状況はどうなっているか。

**市民生活部長** 火葬場については来年度早々までに決定予定、小野田浄化センターへの機能統合は事業費6億円で中継貯留槽の新設は協議中、衛生センターについては総事業費55億円で環境大臣の承認もいただき、26年度末完成を目指している。

**教育長** 学校耐震化事業については現在進行中で24年度末にはIS値0.7未満の学校施設の工事完了を目指している。厚陽小中学校建設については基本構想も確定し、23年度末完成に向けて努めてい

る。共同調理場については政策形成過程にあり、決定していない。

**消防長** 山陽消防署は3年後の建設をめざし、候補地の選定、用地確保に向けて事業を進めていく。

### 未収金について

**議員** 20年度、未収金約15億7,000万円、未納欠損約1億5,700万円となっており、厳しい市財政の中、少しでも回収できればと思うが、経緯と回収方法はどうか。

**総務部長** 納付期限後20日以内に督促状、その後文書催告、電話折衝、訪問面談等納税交渉を重ね、最終的に法律上の差押え対象となる。税負担の公平性、自主財源確保のため、厳格に対応する。



## 新病院建設の財源クリア 山陽小野田市民病院

衛藤 弘光 議員

**議員** 病院の主要建物の建設年代はいつごろで耐震性はどうか。また、1床当たりの有効面積はいくらで、最近の公立・公的病院との比較はどうか。

**病院事業管理者** 本館、南館の建物は昭和37年8月で48年経過、南館は昭和55年11月で29年経過している。耐震調査は透析センター以外は診断していない。1床当たりの有効面積は59㎡で、最近の公立・公的病院が70㎡であり、大変狭い状況である。

**議員** 廊下の幅が狭く一部物が置いてあるが、患者さんを守る非常時の防災訓練の状況はどうされているのか。

**病院事業管理者** 病院では消防本部との協力で防災訓練、また、全職員に連絡がいきわたる夜間通報訓練と夜間警備、当直夜勤者、公舎居住者を中心とした避難訓練を実施し消防本部の講評をうけ有事に備えている。

**議員** 病院を維持管理する電気室、予備発電機、ボイラー室、熱交換器などの老朽化が気になるが、水害時の対策はどうか。

**病院事業管理者** 現時点では、土のうの設置で対応する。

**議員** 浸水する場所に防水壁の設置を検討されてはどうか。

**病院事業管理者** 検討する。

### 新病院建設について

**議員** 8月2日の答申について各報道機関の内容がいろいろあり、財源問題がクリアすればゴードと判断できるが、今一度市長の考えを聞きたい。

**市長** 半年間ということはあるが、今、各方面の意見を聞く中、財源の手立てはできる。あとは市民の皆さんが本当に必要としているかどうかだ。市民や議会の皆さんの声をきいて決断したい。議案として前向きであれば来年3月議会となる。

**議員** 先日ある新聞の投稿欄に、「拝啓山陽小野田市長様」と題して病院統合について、労災病院と合併してはどうかという内容であったが、この件についてどのように、考えているのか問う。

**病院事業管理者** 新聞記事は市民の気持ちを混乱させる恐れがある。この問題は平成19年の段階で済んでいることを知らずに投稿されたと思われる。当時労災病院の病院長や事務長より丁寧なお断りがあり解決済みの問題である。



山陽小野田市民病院

## 収支計画を明らかにして新病院建設を

河野 朋子 議員

**議員** 新病院建設検討委員会では、建設後の収支計画をはっきり示すべきだという委員の意見もあったのに、結局示されないままに最終答申が出されたがなぜか。

**病院事業管理者** 医療費の改定が行われている現在、数年後10年後を見通すのは非常に難しい。委員から指摘もあったが、個別に説明して納得してもらった。

**議員** 数百万円もかけてコンサルタントに委託したのに、作成した収支計画が出せないことに納得がいかない。今後病院の収支計画はどこで作成するのか。

**市長** 病院局がコンサルタントに作成させた計画には山陽市民病院の負債が入っていた。私が私的に財政、経理担当にその負債14億円を差し引いて試算してもらおうと、何とか黒字になるという感触だ。

**議員** 市民にしてみれば、今後経営は大丈夫なのか、どれくらい市の負担が増えるのかなど不安も

ある。建設については、ぜひ経営分析や今後の経営計画や市の財政計画を持って市民に説明していくべきだと思うが、どうか。

**市長** 異論はない。

**議員** また、先日宇部日報の投稿欄に提案があったように、単独の建て替えにこだわらず、労災病院との統合という新たな選択肢も考えてほしいと思う。

**市長** 現在その新聞記事のコピーとともに先方に投げかけている。



### さらなる行財政改革を

**議員** 行財政改革について、平

成19年に作られた行動計画（アクションプラン）は見直しが必要だと思うがいかがか。

**総合政策部長** 見直しの必要な時期だと考えている。

**議員** 見直しについては行財政改革の効果を示す数値目標を示すべきだと思うがどうか。

**総合政策部長** 効果額も合わせて入れるよう検討したい。

**議員** 市には事務事業が約800あるが、すべての事業に対する評価表をホームページで公表すべきと思うが、現在300くらいしか公表されていないのはなぜか。

**総合政策部長** 本来ならすべて載るべきだが、評価過程にある。

**議員** 昨年12月に取り上げたが、それ以降進んでいるようには思えない。

**市長** 指導していきたい。

## 農業振興地域解除で地域振興・人口定住へ！

尾山 信義 議員

**議員** 本市のように市役所周辺に農業振興地域が広がるところも珍しいと思うが、早期に解除し駅前開発とリンクさせ、人口集積を図るべきではないか。

**総合政策部長** 土地利用の見直しが必要となったときは、農業振興とのバランスを鑑み検討する。

**議員** 転入者に対する支援を企業誘致なみに、人口集積につながると思うがどうか。

**産業建設部長** 市外から転入され新築された方に奨励措置検討、その他転入促進につながるサービスを検討中である。

### 児童館・児童クラブ職員の待遇改善

**議員** 児童館の指定管理期間が今年度で満了するが児童館職員の賃金は変わらず、児童クラブ職員は県下最低の時間給 700 円の現状をどう考えるか、改善の余地はあるのか。

**健康福祉部長** 県下最低賃金であることは重々承知している。期間満了に伴い改善に向けて努力する。

**市長** いつも念頭にある。申しわけないと思っているが、厳しい財政事情である。

### 地方バス路線のあり方について

**議員** 現在、厚狭高校などに通う生徒や保護者から需要のある時間帯のバス増便の要望が出ているが現状を把握しているか。

**産業建設部次長** 要望も実態も聞いている。事業者などにも話しており協議に入っている。

**議員** 市長のところにも手紙が届いているはずだがどうか。

**市長** 通学用のバス増便について、通学生を対象にして少し調査し、前向きに検討する。

### 市民病院の将来構想について

**議員** 市民病院については、病院事業管理者が本当に底力となつて

頑張ってくれたと思う。新病院建設についての意気込みはどうか。

**病院事業管理者** 市民の方が要求されれば頑張りたいが、要求されないことをやるのはかえって迷惑かなと思っている。

**議員** いい施設と、いいスタッフと、いい医療機器があれば患者さんは必然的に集まってくると思っている。新病院建設にご尽力をいただきたい。



改修を繰り返した山陽小野田市民病院

## 児童虐待防止対策の充実を

中島 好人 議員

**議員** 一週間に1人の子どもが虐待で亡くなっている。2008年度107件128人が死亡。また、2009年度201カ所の児童相談所が受けた相談件数は、4万4,210件で過去最高である。宇部・小野田地域内に設置や本市の家庭児童相談員の増員、専門性などの体制強化が必要であるがどうか。

**健康福祉部長** 児童相談所が山口市にあるが不便さを感じていない。児童相談員1名で対応している。担当職員の専門性の向上や人数の増員、教育委員会などとの連携が必要と考えている。

**議員** 山陽小野田市は、中央相談所で10人が担当していて、ケースは898で、1人当たり90ケースである。(表参照)欧米では、15ケースから20ケースが標準である。距離が

遠いか近いかではなく宇部・小野田管内に福祉施設をつくるよう要望すべきである。

**市長** 宇部市と協議して県に対して要望するかどうか決める。

### 子ども条例の制定を

**議員** 子どもの施策を考える時の基本となるのが、子どもの権利条約である。これに基づく「子ども条例」を制定してはどうか。

**市長** 次世代育成支援対策行動計画がある。カバーできるかできないか検討して、条例化が必要で

あれば、議会に提案したい。

### 「非核平和都市宣言」看板の設置を

**議員** 今年は、日本の侵略戦争が終わって65年になる。年を経るごとに被爆者や戦争体験者の数は減り、戦争の記録が薄らいでいくことが危惧される。「戦争体験集」の作成や、市役所に「非核平和都市宣言」の横断幕や看板の設置をしてはどうか。

**総務部長** 看板の設置については、早速市役所本庁舎正面設置を前向きに検討したい。戦争体験記録を残すことは考えていない。

**議員** 体験者の「私が死んでも記録は残る。二度と戦争はしてはならない。」この思いをかなえてほしい。再度検討をしてはどうか。

**総務部長** 平成9年に旧小野田市で作成された「私の体験記」、こういったものを今後も是非ということであれば、検討していきたい。

児童福祉司1人あたりの担当ケース数

ケース数 相談所名	児童福祉 司数	2009 ケース数	1人 あたり	2010 ケース数	1人 あたり
中央児童相談所	10	986	96.8	898	89.8
岩国児童相談所	5	214	42.8	281	56.2
周南児童相談所	5	263	52.6	317	63.4
下関児童相談所	6	309	51.5	249	41.5
萩児童相談所	3	154	51.3	204	68.0
計	29	1,908	65.8	1,949	67.2

## 老朽水道管の更新は百年の計

硯谷 篤史 議員

**議員** 耐用年数を過ぎた老朽水道管の更新が間に合わず、全国的にも大きな問題となっている。本市における現状と更新計画を問う。

**水道事業管理者** 水道管だけでなく、水道施設全般の老朽化が事業運営上の重要課題となっている。

本市では「老朽石綿管」の更新がまだ残っており、現下の最優先課題として取り組んでいて、小野田地区は来年度まで、山陽地区は2014年度までかかる予定だ。

さらに、配水管409kmのうち耐用年数が経過したものは現在20.6%の約84kmである。効率的な更新と資金計画を中長期的に考える必要がある。

**議員** 現在の更新ペースでは、耐用年数を過ぎた水道管が増えていくのではないかな。

**水道事業管理者** 地方公営企業法では減価償却上の耐用年数として配水管については40年とされている。実際の耐用年数はもっと長

く、最近では耐用100年といわれる管を使用している。年3kmの現在のペースを少なくとも4kmにしなければならないと考えている。

## 下関との水道接続管を

**議員** 今回の豪雨災害では鴨庄浄水場が水没したうえに厚狭川新橋の崩落による配水管の損傷により山陽地区が断水した。その中であって、厚陽地区700世帯は小野田・山陽相互連絡管が接続されていたため断水を免れた。

下関市との連絡管が接続されておれば殖生地区においても断水せずに済んだのではないかと考えるがどうか。

**水道事業管理者** 今回の災害に際して相互融通管の効果と必要性について十分に評価できた。下関との融通管については、事務レベルで協議しているが費用の問題等、課題が山積しているのが現状だ。

## 医師の確保は保証されるのか

**議員** 新病院を建設するに当たって、医師の確保ができるかどうかが一番の課題だ。

河合管理者の人となりによって医師が集まっているとの見方もあるが、将来的にも不安はないのか。

**病院事業管理者** それなりの環境を整えれば心配ない。



新橋崩落により仮配管された水道管

## 政府の言う国保の広域化は歯止めない保険料の引き上げに！

山田 伸幸 議員

**議員** 「国保がいのちを奪う」という事態が広がっているが、政府は国保を広域化させ、県単位での運営を進めているが、山陽小野田市では、高すぎる保険料と保険証の取り上げが問題化している。国保の広域化の課題や問題点についてどう考えているか。広域化することで、高い保険料や保険証の取り上げ問題など解決するのか。

**健康福祉部長** 国は、市町村国保の運営に関し、都道府県単位による広域化を推進している。広域化により、保険財政の安定化や保険料の平準化、保険者事務や医療費適正化など事業運営の広域化が期待できる。課題としては、運営主体が明確ではなく、運営主体と市町村との分担と責任が不明瞭であること、財政運営においてシミュレーションを要すること、国が進めている高齢者医療制度の見直し不明であることが課題である。高齢化の進展等に伴い、医療費の

増加傾向が続くことが予想される中、財政運営の安定化による公的医療保険制度を継続的に維持していくためには、現状では難しく、広域化は避けて通れない。

## 広域化では市民の声が

ますます届かなくなる

**議員** 国保広域化のねらいは、市がおこなっている保険料を低く抑えるための基準外繰り入れをやめさせていくことである。厚労省通達では、「一般会計繰り入れによる赤字補てん分については保険料の引き上げ、収納率の向上、医療費適正化等の推進等により、解消するように努めること」としているが、これは県下の国保料を均一にするために、自治体による一般財源の繰り入れをやめさせて、保険料値上げせよということになる。一般財源からの繰り入れをやめてしまうと、医療費が上がった分、保険料が高くなっていく。こ

れが広域化の最大の問題である。さらに、広域化することでますます遠くなり、市民の声が届かなくなってしまうのではないかな。

**健康福祉部長** 中間発表ということで、内容がよくわかっていない。内容の確認ができれば、なるべく市民に負担のないような方向で、要望はしていきたい。



## 市有林の有効活用を

河崎 平男 議員

**議員** 本市の森林資源として、有効利用できる市有林が 157ha、管理技術の優秀な民有林も 780ha あり、今こそ本市の宝の山として有効利用できないか。

**産業建設部長** 国においても「森林・林業再生プラン」を平成 21 年 12 月に策定し、森林資源を最大限に活用することにしている。

### 厚陽校区の学校施設に利用

**議員** 本市では、小中連携の学校施設が建設予定されており地元産木材の利用を提案する。

**産業建設部長** 市内産の木材の利用は切り出しから加工の流通経路が確立しておらず、また、単価の課題もあるが、公共施設での地元産木材利用を関係部署と協議していく。

**教育部長** 木材には、コンクリートや金属にない温かみをもっており、利用者に安らぎをもたらす効果があり、厚陽校区の学校建設に

も地元木材の積極的利用を進めたい。

**市長** 本市の公共施設については、学校も含めて、建て替えを検討する際、地元産の木材使用を考えている。

### 森林の整備は

**議員** 森林の整備計画はどのようになっているか。

**産業建設部長** 森林整備によるCO<sub>2</sub>の削減効果、災害防止、水源かん養、生態系の保全などの機能があるので、整備に努めていく。

### 食育推進計画の進捗状況

**議員** 食をめぐる現状や食の影響が重要な課題になっており本市の推進計画の推進状況はどうか。

**健康福祉部長** 地域の特性を生かした食育推進計画を今年度中に作成する。これは「ねたろう食育サイクル」をイメージして、実践し、心も体も元気な市民を目指すもの

である。

**議員** 地産地消とのかかわりはどうなっているか。

**教育部長** 本市は、平成 21 年度の県内産食材の利用率は 59%で、県内市町では第 4 位で、前年対比伸び率は 1 位である。米飯も週 3 回利用している。



有効活用を求められる市有林

## 山陽小野田市版事業仕分けの採用を

大井淳一郎 議員

**議員** 当市における事務事業評価方法の現状を問う。

**総合政策部長** 事務事業評価表を作成し、昨年度から市民に公表しているが、これについては内部評価であり、まだ完成型とはいえない。さらに見直しのための工夫を重ねていく。

**議員** 事務事業評価表の公開に、ばらつきが見られる。全て公開すべきでは。

**市長** 次の議会までには、全部の事業評価をきちんと載せるように指導する。

**議員** 公開の場で住民に身近な事業を外部評価することに大きな意味がある。当市でも事業仕分けの採用を検討してはどうか。

**市長** 興味のある試みだと一定の評価はしている。事業評価を市役所の中だけですることについて、どうかなという気持ちも常にある。しかし、よそから呼んできたプロの仕分け人ではなく、市民

に仕分けしてもらおう構成であるべきという感想だ。

### 県事業負担金の軽減を

**議員** 県事業負担金の軽減について県と折衝しているか。

**産業建設部長** 県は市にできるだけ負担させたくない意向をもって、今後も市長会などを通じて、負担金の軽減要望を行いたい。

**市長** 現在も負担率、負担割合について交渉しているケースがある。

### 深刻な鳥獣被害

**議員** 近年、有害鳥獣による被害が後を絶たない。当市の取組を問う。

**産業建設部次長** 猟友会と連携を図り、年間を通じて被害状況の調査、捕獲を実施している。ただ、それで被害がなくなるわけではない。耕作放棄地の解消や防護柵を地域で一体的に取り組むことが必

要だと考える。

**議員** 国の事業仕分けの関係で、県に一括交付されることになった「鳥獣被害防止総合対策交付金」を生かすべきだが、どうか。

**産業建設部次長** 「鳥獣被害防止総合対策事業」の実施主体は、地域の協議会である。協議会の中では具体的な要望が出ていないが、情報を与えながら被害防止に努めていかなければいけないと考えている。



イノシシ防護柵

## 障がい者にやさしいまちづくり

高松 秀樹 議員

**議員** 市役所の正面に、障がい者等専用駐車場、通称「思いやり駐車場」が完成した。総務省の調査では、身体障がい者用車両限定の運転免許保有者数は年々増加し、平成19年末現在で20万8,000人。その中の95%の人が、「車いす使用者用駐車施設に一般者が駐車して困った経験あり」と回答している。

身体障がい者用車両限定の運転免許保有者に限らず、真に必要とする人が駐車できるように、利用証を交付し、利用証があるものだけが駐車できるというパーキングパーミット制度だが、市内では何人にどこで交付をしているのか、また今後の利用促進をどのように考えているのか。

**健康福祉部長** 8月末現在で市内153人の方に交付している。

利用者証交付窓口は、市役所の高齢障害課、総合事務所市民窓口課、社会福祉協議会。妊娠婦等に

ついては、保健センターと小野田保健センターで交付している。

歩行や車の乗降が困難な方の駐車場確保のためには、すべての方の理解とマナーの向上が必要であると考えます。定期的に市広報への掲載や地域につながるの深い団体等を通じて、より一層の周知・啓発に積極的に取り組んでまいります。

## ゴミ袋の改善

**議員** 指定ゴミ袋は、どのように改善され、いつごろ店頭に並ぶこととなるのか。

**市民生活部長** 材質・色は従来品のごみ袋と同じだが、大・中・小、各サイズとも、まち付、取っ手付とした。実際に店頭で販売されるのは、年明けの1月ごろになる。

**議員** 県下で一番のゴミ袋という市長の思いを実現するために、どのようなゴミ袋にしたのか。

**市民生活部長** 市民の皆様にも少し

でも使いやすく、喜んでいただけるようなゴミ袋を目指したいということで表現をさせていただいている。

**議員** 市民の皆様の方が使ってみて、本当に県下で一番のごみ袋だというような理解を得られる日が来ることを望む。



思いやり駐車場

## 被災者の声聞いて水害の検証を

下瀬 俊夫 議員

**議員** 市長は被災者の生の声を聞く懇談の場を、議会とは別の形で開催するというが、いつ、どのような形で開く計画なのか。

**総務部長** 県と市が厚狭川の抜本的な治水対策を検討する過程で、被災者の声を聞く機会を作りたい。

## 避難勧告が聞こえなかった！

**議員** 広報車の「避難勧告」が聞こえなかったとの多くの声がある。被災直前の市民への避難勧告、指示の方法と徹底については、どのような検証と総括がされたのか。

**総務部長** 避難勧告マニュアルに従い広報車は100メートル置きに停車して広報を繰り返した。サイレン吹鳴は行わなかったが、MCA無線などを利用した疑似音での吹鳴を今後検討している。

## 給水、ゴミ、炊き出しなど！

**議員** 被災した自治会長も多く、被災後の給水、炊き出し、ゴ

ミ出し等の連絡網が機能せず、情報伝達のあり方は検証したのか。

**総務部長** 広報車の原稿は毎朝確認し、現場の状況を踏まえて即座に対応した。給水場所や災害ゴミの仮置き場など反省材料は多いが、今後の課題としたい。

## 被災状況の正確な伝達手段を

**議員** 美祢地区の集中豪雨が原因で厚狭川が越流し、厚狭の街を突然濁流が襲った。正確な情報伝達は生死にかかわる問題では。

**総務部長** 防災メール（600件登録）、FMきららなどの活用や県を通じてテレビのテロップ報道を流すなど可能な限り対応した。

## 市独自に小規模農地の災害復旧を

**議員** 政府の「激甚災害」指定を受けて、昨年の防府市並みに農業施設などの小規模な災害復旧策を市独自に実施してはどうか。

**総務部長** 被災額13万円～40万

円未満の小規模災害17件450万円は起債対象となるが、それ以下の市単独事業は考えていない。



被災した厚狭川新橋

## 新病院・公費使ってなぜ民間か？

**議員** 新病院は55億円もの公費を支出するのに、建設前から経営の民間委譲や他病院との統合問題が公然と論議されるなどの対応は疑問だ。医師不足解消のためには、自前の医師養成プロジェクトが必要では。

**病院事業管理者** 新病院の経営形態は時間をかけて議論してきた。自前の医師養成は今後の課題だ。

## ウォーキングで健康寿命を伸ばそう！

平原 廉清 議員

**議員** 市民の高齢化が進み、介護保険要介護認定者数は増えている。行政は、市民の健康寿命に着目し、健康とQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高める施策をとるべきだが、健康寿命の意義・目的への認識を問う。

**健康福祉部長** 平均寿命から介護が必要になった、つまり自立した生活ができない年数を引いた数値を健康寿命という。数値目標を掲げて取り組んでいる。

**議員** どんな施策か、疾病対策と健康維持の観点から問う。

**健康福祉部長** 健康教育の場でも健康寿命の話を取り入れ、食事や運動の指導を行っている。疾病対策では、検診率の向上が大切。今年度は特に受診率の低い肺がん検診を医療機関でも受診できるようにし、県平均の18%を目標に検診体制の充実に取り組む。

健康維持面からは、食生活や運動の指導、健康体操などや生き生

き健康講座の実施による、健康推進員の養成などを行っている。

**議員** 当市の主要死因ワースト3を問う。

**健康福祉部長** 順に1は悪性新生物（がん）、2は心疾患、3は肺炎である。

**議員** 最近の検診の受診率は低いがなぜか。

**健康福祉部長** 他市に比べ低い受診率を上げるために、先に述べた施策等の実施や両商工会議所、タクシー協会等とも連携をとることとした。

### ウォーキングは健康運動の王様

**議員** 病気の一時予防策として、運動習慣のない中高年層にウォーキングを推奨し、定着策を取ってはどうか。

**健康福祉部長** 1日にもう1000歩増やそうと推奨している。施策は健康推進員の活動やウォーキングマップを保健センターに置いて

ある。

**議員** ウォーキングは健康寿命を伸ばすこと、医療費を抑える方向につながる。新たな財政的負担もかからない優れたものである。ただ面白さを感じるとか、運動効果がでるまでに時間がかかり、継続の必要があるのが欠点。従ってそれをサポートする施策が必要。例えば、ウォーキング管理表の配布、一定距離を踏破した人を広報で紹介、あるいは踏破認定証を交付する等である。中高年層への動機づけが必要だが、それは行政の役目ではないのか。

**市長** 早速市民の健康寿命を延ばす方向で取り組む。必要な費用の助成も考える。



江汐公園は、絶好のウォーキングコース

## 奇跡は4度は起こらないとの危機感を持って！

吉永 美子 議員

**議員** 過去3回の台風や豪雨水害で、他自治体で人命が失われている中、本市では人命の被害はないが、奇跡は4度は起こらないという危機感で自助、共助、公助の力を出さなければならない。共助の最たるものは自主防災組織と思うが、その組織率の現状と推進策はどうか。

**総務部長** 日頃から自然災害を受けておられない地域については、組織化が進んでいない。この度の厚狭地区の災害発生により、各自治会単位で既に自主防災組織の立ち上げが活発になりつつあると聞いている。積極的に応援していきたい。

**議員** 災害ボランティアの事前登録制度の導入を提案する。

**市民生活部長** 市社会福祉協議会と協議をしていきたいし、市としては、積極的に推進する必要があると考えている。

### せっかく設置されたのだから

**議員** 外出時のために、AEDマップを携帯電話に登録できないか。

**健康福祉部長** 市のホームページをリニューアルする際に、携帯電話でも検索できるよう担当課に依頼したい。

### 子どもの叫びが聞こえるように

**議員** 児童虐待を早期に発見するために、歯科医師会やコンビニと連携できないか。

**健康福祉部長** 歯科医師会に諮るべきか、協議したい。コンビニの協力については、他のお店もあるので、商工会議所と協議していく中で虐待の発見に努めたい。

### はざままで悩む人たちがいる！

**議員** 障害年金を受給できない知的障がい者を支援するため、宇部市のように臨時職員として採用

できないか。

**市長** 先進地というか、宇部市の例など十分に参考にしながら、これから取り組んでいきたい。

### 新しい福祉として

**議員** うつ病の治療に効果が認められる認知行動療法について、市民病院への導入の考えを聞きたい。

**病院事業管理者** 専門家は極めて少なく、近隣で人材を見つけることが難しい。

### 不幸な命を増やさないために！

**議員** 犬の登録による収入を、犬や猫の避妊・去勢への助成制度として使用できないか。

**市民生活部長**

考えは十分理解できるので、検討したい。



ペットもかけがえない命です

## 山陽小野田市の将来は？

岩本 信子 議員

**議員** 合併が一段落したが、近隣市との定住自立圏構想<sup>(※)</sup>はどう考えているのか。

**総合政策部長** 重要な課題である。

**議員** 周辺市との話し合いはどうか。

**総合政策部長** 近隣市と具体的に協議検討する時期にあると捉える。

**市長** 3市の協議会でこの勉強会を提案したが拒否をされた市があった。協議を進めるとすれば宇部市だが、実情を見ると時期ではない感があり、定住自立圏構想への取組については足踏み状態である。



左が宇部市、右が山陽小野田市

**議員** 圏域マネジメント能力強化の点で、人事的交流はどうか。

**総務部長** 近隣市との人事交流は良い手段であり積極的に考える。

**議員** 消防では広域化が進められているが、ほかにあるか。

**総合政策部長** 近隣3市による広域連携協議会の開催、養護老人ホーム長生園、県立サッカー交流公園の管理運営、2次救急医療体制の相互協力などある。

※定住自立圏構想…若者の定住と市民サービスの向上を目指すためには、単独の自治体だけでは困難であり、周辺市町村間で役割を分担・協力をして、魅力ある地域にしていき定住を図る施策。

### 自主防災組織の勧め

**議員** 自助の啓発はどうか。

**総務部長** 校区ごとに自助・共助の重要性やマップの説明、その地域の危険箇所など共通認識してい

くための懇話会等準備している。

**議員** 共助の指導はどうか。

**副市長** 自主防災組織を中心に民生委員、自治会長、福祉委員のネットワークが機能する仕組みづくりをしなければならない。

**議員** 子供たちを自主的に守った方々に感謝状を出すことはどうか。

**市長** 感謝の気持ちは伝えたいが、基準があり現在検討中である。

### 職場改善意欲の向上

**議員** 歳入歳出会計外事務処理のミスは、仕事に対する意欲と職場全体の意識のあり方が問題だがどうか。

**総務部長** 事務改善等については効率化を図るためにもしなければならない部分である。職員一人ひとりの意識の問題であり、ミスについても取り返しはきかないので、今後に向けて十分に注意し、改善していく。

## 若者を薬物から守ろう！

福田 勝政 議員

**議員** 約30年前薬物使用により服役経験がある。初当選後の最初の一般質問時に告白し謝罪したが、今まで反省の念を忘れた事はない。最近薬物乱用の事件の報道が多く、それも若年化しているため、これからは啓発運動に力を注ぎたいと思っているが、最近県内でも未成年者の薬物による逮捕があった。マスコミ報道を見ると、反対に興味をそそるのではないかと不安を感じる。

そこで薬物乱用対策についての市での啓発運動の内容、また今後の計画を教えてください。

**教育長** 平成21年度の山口県内の薬物での検挙数は138人、山陽小野田市は10人である。薬物乱用対策また健全な社会を構築する目的として、関係機関・団体が連携し薬物乱用防止草の根運動に取り組んでいる。また国連の国際麻薬乱用撲滅デーに合わせ「だめ絶対国際麻薬撲滅ヤングキャンペーン」

を6月に小野田サンパークにて実施。また薬物乱用防止対策推進協議会において、薬物乱用だめ絶対教室を市内の小中高校生の学校で実施。また本市教育委員会では、小中学生の生徒と全教職員に「薬物に関する緊急メッセージ」と題したチラシを配布。また若者や市民が参加するイベントや祭りには、青少年育成協議会の方による街頭啓発運動を実施している。

**健康福祉部長** 山陽小野田市薬物乱用防止対策推進協議会に役員として関わっており、例年6月に小野田サンパークで開催される「だめ絶対国際麻薬撲滅ヤングキャンペーン」に参加し、青少年に重点を置いた薬物乱用防止教育、地域・家庭・学校における啓発運動を実施している。また小中高校生を対象に薬物乱用防止ポスターを募集し、県民一人ひとりが問題の重要性を認識し、啓発運動を一層進めるよう努めている。

**議員** 度々マスコミが騒ぎ立てているなか、今の子供たちはダメだと分かっているにも逆に興味を持つのではないか。

**教育長** 非常に情報があふれているので、遠さげるより、分かりやすく伝える必要があると考えている。

**議員** 若者は日本の財産であり、薬物乱用から守っていききたい。



## 病院バス継続検討へ

伊藤 武 議員

**議員** 6月議会で発着箇所を厚狭公民館などへ変更し、継続するよう要望したがどのようになったか。

**病院事業管理者** 病院局としては、2月いっぱい中止する。

**議員** 病院統合による、無料のバス運行を路線が十分でない状況で、やめる判断は、納得できない。また、新病院建設の答申を受けどのようにするのか。

**市長** 公共交通の問題だ。少し時間をいただき、ねたろう・いとね号の延伸など非常に参考になる提案だ。内部でスピード感を持って検討する。答申を受け、プロポーザルでは十分含まれていない資料などいろいろ調査・検討している。厚南地区利用者は、約14～15%だ。どこの場所が良いか、多くの市民の意見も聞きながら、総合的に検討していく。

### 行政格差の解消を

**議員** 格差の一つとして、全小学校区に福祉会館、屋内体育館が確保されていないが、整備計画は、どうか。

**健康福祉部長** 山陽地区の福祉会館は小学校区ごとにない。設置することは、現財政状況では困難である。

現公民館について、公民館、福祉会館の役割を含めた運営について今後、考察していきたいと考えている。

**教育部長** 小野田地区は、各校区に屋内体育施設があるが、山陽地区は3カ所だ。山陽地区の公共施設は、老朽化が進んでおり再編等を図っていく中で検討を考えている。

### 命を守る通信網整備を

**議員** この度の厚狭川はん濫でも明確となった。全ての情報が、

リアルタイムに伝達できていない。直接避難・誘導・連絡が出来るのは、全市的なケーブルテレビジョン方式だ。プロジェクト委員会の進捗状況はどうか。

**市長** 委員会の検討作業が進んでなく途中災害もあり、今一つスピード感がない。スピードアップする。

### 厚狭川越流被害の対応

**議員** 再発生防止に向けて浚渫・迂回水路・遊水池等の考えはどうか。新橋の架け替えは、歩道を含め拡幅されたい。

**産業建設部長** 県の計画で、河床の浚渫が予定されている。

**市長** 現状の復元でなく、歩道車道を分け、車も離合できるように折角の機会です。



崩落の新橋と川床体積土砂

## 小野田湾岸線と周辺道路整備計画

石田 清廉 議員

**議員** 本市の重要課題である「新有帆川架橋」も着々と工事が進み今後、周辺道路整備についても市民の永年にわたる要望事項であるが整備計画について、県道小野田山陽線日の出工区くし山跨線橋拡幅計画の進捗状況と今後の計画について説明を求める。

**産業建設部長** 県により平成13年度に事業着手され測量設計やJRとの協議や用地の取得等がされている。

**議員** 国道190号線新生町交差点から小野田中学校までの拡幅工事は開通以来37年にもなるがいまだ何らの整備がされていない。また千代町交差点と取り付け市道の設計がされているがその後の進捗状況について問う。

**産業建設部長** 新生町交差点の渋滞解消対策として新生町交差点に右折専用レーンが設置された。その後関係機関との協議が整わないなど、平成14年度より事業を中

止している。千代町交差点の計画について国交省及び公安委員会との協議を進めている。

**議員** 有帆川架橋完成後の湾岸線の整備計画、宇部湾岸線との接続計画は現在あるのか。また、企業進出により公園通交差点近辺大型トラックの通行が著しく増えた。交通渋滞は激しく住民への安全性が問われるが整備計画はあるのか。

**産業建設部長** 国の整備区間指定を受ける必要がある。今後、国、県関係機関に要望していく予定である。この地域の安全性については充分認識しているが残念ながら現時点では事業化のめどは立っていない。

**議員** 質問の3地点、いずれも日常的に交通渋滞が見られ

る。住居地域、文教地域、商業地域でもあり住民の安心、安全の面からして早急な道路整備計画が求められる。国、県に対し市と議会一丸となって強く要望を継続していくことを提案する。

**市長** 現状としては国、県の計画はない。公園通り交差点における交通量の調査については、できるだけ早いうちに実施する。



大型車の日常的な渋滞状態



# 豪雨災害対策調査特別委員会中間報告

山陽小野田市議会は、平成22年8月4日に臨時会を開催し、今年7月15日の豪雨災害に係る原因究明、被災者支援、今後の復旧及び長期的な防災対策並びに調査を行うことを目的として豪雨災害対策調査特別委員会を設置した。

この間、2カ月足らずの短期間に精力的に集中した活動として6回の委員会審議と14回の被災地区懇談会の開催や現地調査及び豪雨災害被災者実態調査を行った。それらを踏まえ当面する諸課題について中間報告を行うものである。

## ■委員会構成

総務・民福・産建の常任委員会から各3名選出の9名で構成

委員長	伊藤 實 (総務文教)
副委員長	尾山 信義 (民生福祉)
委員	伊藤 武 (産業建設)
委員	河崎 平男 (総務文教)
委員	下瀬 俊夫 (民生福祉)
委員	中村 博行 (総務文教)
委員	平原 廉清 (産業建設)
委員	松尾 数則 (民生福祉)
委員	山田 伸幸 (産業建設)

## ■被災地区懇談会、豪雨災害被災者実態調査 (242枚回収) の主な意見、要望

- 災害発生時の知りたい情報は
  - 危険度合いが確認できる具体的な情報
  - 小中学校の休校指示
  - 交通、雨量等の現況情報等
- 災害発生時に困った事は
  - 給水の自宅への運搬
  - 避難場所に行けない、遠い
  - トイレが使えない
- どのような支援が助かりましたか
  - ボランティアの支援
  - 災害ごみの回収
  - 給水、食事の支給等
- どのような支援が不満でしたか
  - 災害ごみの収集期間、収集方法
  - 給水、食事支給場所、時間、数量
  - 広報車の声が聞こえない
  - 情報が少ない、遅い
- 今後必要な支援
  - 解体、リフォームによる災害ごみの回収
  - 健康面のケア
  - 側溝の清掃等
- その他、防災についての意見
  - サイレン、有線、ラジオ等の有効活用
  - 教育委員会と学校の危機管理対応に問題がある
  - 美祢ダム放流との因果関係はあるのか
  - ハザードマップ、避難所の見直し
  - 厚狭川の早期治水対策
  - 防災井戸の活用
  - 窓口対応の人選、改善
  - 被災地区の情報伝達方法の見直し
  - 給水、食事支給場所、方法、数量等の再考等

## ■委員会審査 (6回)

平成22年8月4日～9月末、延べ6回の審査において今後の進め方や実態調査の集約を行った。

## ■被災地区懇談会

(14回・延べ153人の参加)

被災地区の会場、保健センターや文化会館及び自治会館等の会場で、できるだけ多くの被災された方の生の声を聴くために、午前・午後・夕方を設定し懇談会を開催しました。実態の把握が出来て大変参考になりました。本当にご協力ありがとうございました。

## ■現地調査

- 日時 平成22年9月28日 9時から
- 場所 美祢ダム、松ヶ瀬、新橋、浄水場、一丁田、石鞘、鳥越、千町商店街
- ※午後～ 総合庁舎宇部土木事務所において、原因究明や今後の対策、復旧状況などについて県職員と勉強会を行った。

## ■今後の委員会活動について

被災者支援として被災地区懇談会、豪雨災害被災者実態調査における意見、要望事項について執行部と協議。その結果で被災地区、関係諸団体との報告会を開く。また、平行して水害の原因については、県や学識経験者と協議を行い中長期的な防災対策の確立に努める。

## ※豪雨災害被災地区への報告会日程

11月22日 (月)	午後2時から	文化会館
	午後6時から	文化会館
11月24日 (水)	午前10時から	保健センター
	午後2時から	山陽商工会議所
	午後6時から	保健センター



美祢ダムを視察

## 会派「日本共産党」

〈研修日〉7月31日、8月1日

〈視察者〉中島好人、下瀬俊夫、山田伸幸

### ○第52回自治体学校に参加（福井市）

1日目（7月31日）は全体会で、春山一穂（専修大学教授）の「民主党政権のもとで、国と自治体の行政はどのように変えられようとしているか。それに対して、私たちはどのような方向をめざすべきなのか」と題する記念講演がありました。民主党政権の進める「地域主権」改革とは、小泉政権の構造改革路線を引き継ぎ、戦後の地方自治の概念を根本的に変えてしまうような最悪の地方自治破壊の方向だと強調しました。「地域主権」の定義そのものがどうにも説明がつかないもので、『「国民主権」「国家主権」以外の主権はない』には納得。

第2部は、各分野で活躍されている4人（平岡和久、高市範幸、猪熊弘子、湯浅 誠）のリレートークが行われました。

2日目（8月1日）は、3人それぞれが下記の分科会に参加しました。

「暮らしを守るセーフティネット・生活保護と国民健康保険」分科会に参加した山田議員は、国民の貧困化が進む中で、いのちと健康を守る最後の砦の生活保護や国民健康保険がセーフティネットの役割を果たしていない各地の実情を学びました。

大阪のある自治体では、社会保障推進協が地域の総訪問を行い、深刻な事態に陥っている市民生活の実態調査が注目を集めました。

「地域医療の危機と自治体病院の役割」分科会に参加した下瀬議員は、全国で進んでいる自治体病院の統廃合と地域の医療崩壊の現状、各地の「病院を守る」市民運動の経験などをふまえた討論のなかで、地域医療のあり方と自治体病院の果たす役割について、市民の側にも明確な認識と哲学が必要だと学びました。

「子どもの貧困と子ども政策」分科会に参加した中島議員は、子どもには何の罪も責任もないのに親の経済的理由で子どもの人権が侵害されている実例や児童相談所の重要性、国による「保育制度の解体と後退」を許さない各地の実践経験とともに、その基本となる「子どもの権利条約」を学ぶ必要を痛感しました。



自治体学校全体集会（福井）

## 市民のこえ

西村梨美子 さん  
（南竜王町）



10月1日、本市に「女性の日」が創設されて、改めて男女共同参画を見直すよい機会となった。1999年に男女共同参画社会基本法が公布・施行され、その推進の効果か？「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業の意識や「女らしさ、男らしさ」の性別特性を強調する風潮はなくなったように思う。けれども私は近年推進の停滞感を覚えているし、民間の推進団体（北京 JAC、やまぐち男女共同参画会議、わネット）の活動にも限界を感じている。

「ワーク・ライフ・バランス」の実践に労働者でない私が事業所にプラカードを掲げて行くことはできない。女性を政策決定の場にといて誰かれとなく立候補してもらって訳にもいかない。シングルマザー、男女の賃金の格差、非正規雇用、DVなど沢山の問題があると思うけれど、それに対して我々の活動は余りにも非力である。講演や紙上による啓発活動だけでなく、実践とつながる活動をしたいと思う。

## 編集室より

異常な猛暑の影響なのか、各地でクマの出没、時季外れの豪雪や台風のニュースが話題となっています。

さて、9月1日から1カ月にわたって開かれた定例市議会の概要、豪雨災害対策調査特別委員会の活動などの「議会だより」21号をお届けします。

この議会では、昨年度の土地取得に関わる条例違反事件をマスコミも注目。市長以下4人の職員が処分される不祥事となり、市議会も緊張感と責任ある市政運営を求めて、付帯決議を可決しました。

なお豪雨災害対策調査特別委員会のアンケート調査にご協力いただいた被災者の皆様に感謝いたします。